

長野市芸術文化振興基金助成金 実施報告書

団体名	長野篠ノ井ライオンズクラブ
事業名	第12回ふれあい音楽祭

事業内容

障がい者施設において練習してきた合唱、演奏、ダンス等のステージ発表。また、日々の活動で製作した作品発表。芸術を通して、障がいへの理解を深めてもらう。
 第一部 各施設の音楽、ダンス等の発表 各15分程度
 第二部 趣旨に賛同したアーティストの演奏、地域の高校生のダンス
 開催日 令和4年9月24日(土) 13:00~16:00
 会場 若里市民文化ホール
 参加団体 ステージ発表 5団体
 展示発表 5団体
 ゲスト演奏 ロックユニットScreaming RED
 ドラマー 野澤 敬音

より多くの市民に来場していただくため今年は広報にも力を入れふれあい音楽祭のInstagram、フェイスブックを立ち上げ、また、FMぜんこうじ、SBCラジオへも出演し、音楽祭をPRした。各団体にも企画団体からライオンズクラブから担当者が頻りにコンタクトを取り、よりよい、ふれあう音楽祭を目指した。
 新型コロナウイルス感染症対策チームも立ち上げ、消毒の徹底、会員全員の抗原検査実施、来場者への呼びかけ、出演者の健康管理につとめた。
 ※詳細は動画も含めInstagram「長野篠ノ井ライオンズクラブふれあい音楽祭公式」をご覧ください。

事業の成果

広報に力を入れ、小中学校や特別支援学校には担当者が直接赴いて音楽祭をPRしたこと、上記のようにマスメディアを通してPRしたことが功を奏し、例年以上の来場者にご来場いただくことができた。
 出演者からも、練習を重ねてきた結果を大きな舞台上で発表でき、多くの人に鑑賞していただけて本当に良かったと喜んでいただけた。

今後の取り組み

障がいの有る無しに関わらず共に楽しめる真のバリアフリー音楽祭を目指していく。

実施状況



ステージ看板の最終仕上げ。文字は出演団体の合作



NPO法人「チャレンジクラブ」のカホン演奏



中野市共同作業訓練施設「竹馬」の太鼓演奏



ホールでの作品展示